

牛久：学校周辺に見る自然

第49号 中根小，ひたち野うしく小

2010年11月11日発行

＜秋の水辺公園^{みずべこうえん}6 ～ 虫たちも冬越しの準備・バッタの仲間，トンボの仲間＞

今回はまずバッタの仲間^{なかま}。草はらを歩くと次々と跳んでいきました。バッタは、大部分が卵^{えいとう}での越冬^{えいとう}になるため、秋になると盛ん^{さか}に交尾^{こうび}、産卵^{さんらん}しているようすを目にします。



↑ショウリョウバッタの交尾

(左の大きいのがメス。右の引きずられてしまっているのがオス)



↑コバネイナゴの交尾

(右の大きいのがメス。

左のおんぶされているのがオス)



↑オンブバッタの交尾

(左の大きいのがメス。

右のおんぶされているのがオス)



↑ジョロウグモにつかまった

オンブバッタ(すぐに糸でぐるぐるにされてしまった。)



↑ノシメトンボの連結体

(上、つまり前がオス)

トンボは幼虫で冬を越すものが多いですが、赤トンボの仲間などは卵で越冬します。アキアカネの卵は、水がなくなっても春まで休眠できるそうです。ホソミオツネトンボなど成虫で越冬するものもいます。写真のノシメトンボ(赤トンボの仲間)は連結^{れんけつ}して草丈^{くさたけ}すれすれに飛びながら卵をばらまくようですが、連結^{れんけつ}せずにメス単独^{たんどく}で卵を産むこともあるようです。【理科支援員・宮内】